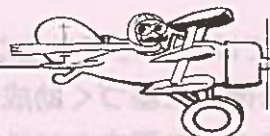


経営者のための生命保険講座 第 46 回

今回のテーマ

解約だけが負担を減らす手段？



保険料の負担が重くなってきたとき、保障内容が気に入らないときなどには、まず「解約」を考えますが、他にもっとよい方法はないのでしょうか？

<1>まず、「解約」について考えてみましょう！

解約するとデメリットがありますが、具体的にはどういったものがあるのでしょうか？

- ① 万が一の場合の保障がなくなってしまいます。
- ② 今後、また生命保険に加入される場合、通常保険料が高くなります。
また、加入時点での健康状態によってはご加入できない場合もあります。
加入された当時は、今より若い時期ですから、保険料は安くなっています。
近年は予定利率が低く、過去の高利率時期の保険料より割高になっています。

加入された時点では健康に不安のない状態だったとしても、年を取るとどこかしら健康に不具合の出ることもあります。
- ③ 解約返戻金は、多くの場合払込保険料より少なくなってしまう。

<2>困ったときに解約以外に負担を減らす具体的方法は？



①



保険料の負担
を少なくし
たい…

はい、こんな時には
減額 を検討してみてください

保険金額や入院給付金日額を小さくすることで、保険料を安くすることができます。
また、減額後3年以内で保険会社の承諾があれば元の契約内容に戻すこともできます。

②



一時的に保険料
の都合がつか
なくなった…

はい、こんな時には
自動振替貸付 を利用してください

その時の解約返戻金の一定範囲内（概ね90%）で保険料相当額の立替を受けることができます。
ただし、借りることになりますので、都合のいい時期に返済されることをお勧めします。